

量子力学I 演習問題

担当 栗本 (krmt@sci.u-toyama.ac.jp)

ポテンシャル問題

1. 1次元の調和振動子で運動量演算子を \hat{p} とし, 新しい演算子を以下で定義する.

$$\hat{a} = \frac{i}{\sqrt{2m\omega\hbar}}(\hat{p} - im\omega x) \quad , \quad \hat{a}^\dagger = \frac{-i}{\sqrt{2m\omega\hbar}}(\hat{p} + im\omega x)$$

このとき, 以下の問いに答えよ.

- 交換関係 $[x, \hat{p}] = i\hbar$ を用いて $[\hat{a}, \hat{a}^\dagger]$ を計算せよ.
- 演算子 \hat{N} を $\hat{N} = \hat{a}^\dagger \hat{a}$ で定義する. このとき, $[\hat{N}, \hat{a}] = -\hat{a}$, $[\hat{N}, \hat{a}^\dagger] = \hat{a}^\dagger$ を示せ.
- \hat{N} の固有値 λ_n の固有状態を $|n\rangle$ とする. ($\hat{N}|n\rangle = \lambda_n|n\rangle$) このとき $\hat{N}\hat{a}|n\rangle = (\lambda_n - 1)\hat{a}|n\rangle$, $\hat{N}\hat{a}^\dagger|n\rangle = (\lambda_n + 1)\hat{a}^\dagger|n\rangle$ を示せ.
- \hat{N} の固有値 λ_n が0以上の実数であることを示せ.
- $\hat{N}\hat{a}|n\rangle = (\lambda_n - 1)\hat{a}|n\rangle$ から, 固有値 λ_n の最小値は0でなくてはならないことを示せ.
- \hat{N} の最小の固有値0の固有状態を $|0\rangle$ と記す. このとき状態 $(\hat{a}^\dagger)^n|0\rangle$ (n は0以上の整数) が \hat{N} の固有値 n の固有状態であることを示せ.
- $\langle 0|0\rangle = 1$ とする. $|n\rangle = c_n(\hat{a}^\dagger)^n|0\rangle$ と定義するとき, $\langle n|n\rangle = 1$ となるように c_n を求めよ.
- $n \neq m$ のとき $\langle n|m\rangle = 0$ を示せ.
- $\hat{H} = \frac{\hat{p}^2}{2m} + \frac{1}{2}m\omega^2 x^2 = \hbar\omega(\hat{a}^\dagger \hat{a} + \frac{1}{2})$ を示せ.
- \hat{H} の固有値と固有状態を求めよ.
- $\hat{p} = -i\hbar \frac{d}{dx}$ を用いて $\hat{a}|0\rangle = 0$ となる状態 $|0\rangle$ の波動関数を求めよ.

2. 球座標でラプラシアン Δ が以下のように表されることを示せ.

$$\Delta = \frac{\partial^2}{\partial r^2} + \frac{2}{r} \frac{\partial}{\partial r} + \frac{1}{r^2} \frac{\partial^2}{\partial \theta^2} + \frac{\cos \theta}{r^2 \sin \theta} \frac{\partial}{\partial \theta} + \frac{1}{r^2 \sin^2 \theta} \frac{\partial^2}{\partial \phi^2}$$

3. 3次元の球座標でポテンシャルが距離 r だけに依存する次の関数で与えられる場合につき, ハミルトニアン固有値と固有関数を求めよ.

$$V(r) = \begin{cases} 0 & (r \leq a) \\ V_0 & (r > a) \end{cases} \quad (a, V_0 \text{ は正の定数})$$

4. 上の問題で $V_0 \rightarrow \infty$ の場合を考察せよ.